

船舶事故等調査報告書

平成25年2月28日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2012広第202号
事故等種類	衝突（かき筏）
発生日時	平成24年11月3日（土、祝日） 20時20分ごろ
発生場所	広島県大竹市阿多田 <sup>あたた</sup> 漁港北方沖 大竹市所在の阿多田港本浦中防波堤灯台から真方位357° 1,700m付近 （概位 北緯34° 12.6′ 東経132° 18.9′）
事故等調査の経過	平成24年11月8日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報	
船種船名、総トン数	プレジャーボート 保険丸 <sup>ほけん</sup> 、1.9トン
船舶番号、船舶所有者等	270-45038広島、個人所有
乗組員等に関する情報	船長、二級小型船舶操縦士
死傷者等	なし
損傷	本船 船底に擦過傷 かき筏 なし
事故等の経過	本船は、船長1人が乗り組み、同乗者2人を乗せ、阿多田漁港北方沖を約10ノットの対地速力で手動操舵により北西進中、船長が、かき筏を視認したが、同筏までまだ距離があるものと思い、少しの間GPSプロッターを見ないで航行していたところ、平成24年11月3日20時20分ごろ、かき筏と衝突し、同筏に乗り揚げた。 本船は、地元漁船に引き出されて大竹市 <sup>くぼ</sup> 波漁港に帰港した。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北、風力 4、視界 良好 海象：波高 約1.0～1.5m、潮汐 上げ潮の中央期
その他の事項	船長は、本事故発生場所付近にかき筏が設置されていることを知っていたので、GPSプロッターに入力したコースに沿って航行していた。
分析	
乗組員等の関与	あり
船体・機関等の関与	なし
気象・海象の関与	なし
判明した事項の解析	本船は、阿多田漁港北方沖を北西進中、船長が、かき筏を視認したものの、同筏まで距離があるものと思い、GPSプロッターを見ないで航行したことから、かき筏と衝突したものと考えられる。
原因	本事故は、夜間、本船が、阿多田漁港北方沖を北西進中、船長がGPSプロッターを見ないで航行したため、かき筏と衝突したことによ

り発生したものと考えられる。